

## 回 答 書

受付番号	回収年月日	回収場所	担当主管課
第 18 号	平成26年6月6日	伊予市役所	未来づくり戦略室
題 目 (テーマ) : 「若い世代が住みたくなるまち 子育てしやすいまちに」			
提 案 内 容 (要旨)			
<p>2014年5月24日付「リビングまつやま第1496号」の記事、拝読いたしました。私はこの記事を読んで、素晴らしいまちづくりの夢：目標だと痛感いたしました。そして私自身も、伊予市が少しでも良くなることを願う一市民でありたいと願っています。しかしながら、現状の伊予市は、夢：目標にはほど遠いものであり、絵に描いた餅でしかありません。絵に描いた餅では食べられませんし、満腹感も味わうことが出来ません。でも夢：目標で終わらせてはならない素晴らしい考えだと思います。</p> <p>それではどのようにして、その夢；目標を実現させるのでしょうか。武智市長が指揮する伊予市になって1年が経過しました。後3年足らずありますが、3年はあつと言う間、経ってしまうと思います。</p> <p>「若い世代が住みたくなるまち子育てしやすいまちに」を実現するためには、もう既に種まきが必要な時期に来ていると思います。5月28日及び6月4日の愛媛朝日の夜8:54からの「ふるさと応援テレビ エヒメのミカタ」のテレビ放送も見ました。先ず組織を大幅に改組したとの説明でした。この改組は、その夢：目標を実現させるための第一歩であろうと推測しています。</p> <p>組織と言う入れ物は、出来上がりました。ではその組織の中で働く中身をどのようにするのが重要であろうと思います。実行力のあるアイデアマンが必要でしょう。そのためにはヘッドハンティングも視野に入れて検討すべきではないでしょうか。</p> <p>私は伊予市にユーターンして数年しか経ちませんが、その少ない経験から、行政マンに対し、次のような認識・感覚を持っています。国レベルでも、地方自治体の職員も同じでしょうが、官僚や職員諸君の得意技は「・・・だから、・・・との理由で、そのことは実現出来ません」との反対意見書の作成は、驚くほど非常に上手く纏め上げる能力を持っています。ある面で、素晴らしい能力であると思います。自分たちの仕事のテリトリーに影響を及ぼすことなく、且つ、自分たちの仕事を増やさないことに掛けては、天下一品の得意技だと感じております。更に、多くの官僚や職員達は、新しい斬新的な意見を葬り去るのが非常に得意ではないかと感じております。しかし、その優れた能力をこの夢：目標実現のために役立てようと思う人が立ち上がることを期待しております。</p> <p>武智市長の考えは、シティブランド戦略との言葉で説明されておりました。伊予市の「ひと、もの、自然」をPRするとのことですが、更なる詳細な戦術はこれからでしょうか。一方、住民の皆さんも、色々考えていると思いますが、何分市民の力は微々たるものです。</p>			

市長の考え方や、今後の伊予市の市政についての大きな戦略(夢:目標)の1つとして、「若い世代が住みたくなるまち子育てしやすいまちに」と考えているものと思います。市民が一体になって力を合わせれば、このような夢:目標も実現出来るものと思います。市民の数だけ、アイデアが埋もれていると思います。一方、委員会や協議会がやたらと多いのも如何なものでしょうか。これで民意が反映されているものと考えてるのは早計であると思います。具体的に何をどのように実施するかは、今検討の最中でしょうし、これから検討し決定されるのですが、私も以前から何点か目安箱等で提案をしました。しかし、当然の結末でしょうか、殆ど没になりました。

でも伊予市の夢:目標は究極のところ、「高齢化・少子化対策」に尽きるのではないかと感じています。高齢化・少子化対策が改善され、活性化されれば、必然的に若者は集まってくるでしょう。地方の自治体は、大なり小なり問題点を抱えており、悩んでいますし、伊予市以上に、それ相応の努力もしています。伊予市にとって、若者を多く集めるには、松山市・松前町・砥部町が差当たり競争相手になるでしょう。つまり若い人に住んでもらうには、松山市、松前町、砥部町、それ以上の魅力が伊予市になければなりません。昨今、この近辺に住んでいる若者の数は、減少傾向にあるし、大きく増加するような変化しないでしょう。若い人の人数は決まっておりますので、風船と同じで、一方を押せば、一方が凹みます。伊予市に松山市、松前町、砥部町より優れた魅力がなければ、若者は集まりません。魅力的な伊予市にするには何が必要なのか？

- ・若者の所得税や住民税を減額するか。
- ・子供手当を倍額するか。
- ・街に住めば、固定資産税を10年間減額するか。
- ・若者にソーラーハウスを提供してエコのまちにするか。

いずれにしても財政の問題が付いてきます。

その他に、私は最近のことですが、愛媛CATVについて提案をしました。結論は、市の財政事情から駄目でした。松山市や砥部町や松前町は、限られた地域で部分的とは言え、実現しています。それなのに何故伊予市では、市役所を中心にして、人口密集地だけでも、愛媛CATVの活用が出来るようなまちづくりをしないのでしょうか。全域とは申しません。人口密集地だけでもインターネット等が可能なようにすべきだと思います。愛媛CATVも若い市民にとって伊予市に住んでみようかと考える1つの選択肢であろうと考えるのです。若者の興味がある関心事の1つは、スマートフォンが典型的な例でしょうし、パソコンやインターネットに代表されるIT関連に興味を示すのではないのでしょうか。市の財政事情は理解していますが、でも、そこを何とか実現させるのが、市職員の腕であり、行政手腕ではないのでしょうか。

また、伊予市の財政内容について、ガラス張りでオープン化した伊予市について、提案します。現在、旧伊予市、旧双海町、旧中山町別の税収入の占める割合はどのようになっているのでしょうか。各々地域毎の税収入割合に対して、事務事業に使っている支出割合を数年間まとめて公表しては如何でしょうか。コンピューターの発達したこの時代、簡単に集計出来るシステムが存在するものと思います。私たち市民の多くは、収めた税金の使い道に関して公平性を期すために、少なくとも納めた税に対して、それに見合う事務事業の支出割合を維持すべきであると感じております。納めた税金に見合うフィードバックが必要だと思いますし、ガラス張りでオープンな財政運営が分かれば、若者も市政に興味を持つのではないのでしょうか。最低限そのようにすることによって、「若い世代が住みたくなるまち子育てしやすいまちに」の実現があるのではないかと期待しています。

## 回 答 内 容

「若い世代が住みたくなるまち 子育てしやすいまち」について、非常に的を得たご提言をいただきありがとうございます。回答を求められているものではありませんが、何点か抜粋し、見解を述べさせていただきます。

### ○人口減少対策について

伊予市の将来人口につきまして、日本創成会議が発表した人口推計では2040年に25,812人、国立社会保障・人口問題研究所の推計では同じく2040年に26,998人であり、どちらにしましてもこの20数年で1万人以上が減少するという衝撃的な結果となっております。

政府は、「50年後の2060年代に人口1億人程度を維持する」との中長期国家目標を設けるとしてありますが、手をこまねいて、このまま、人口減少問題を放置すれば、地方の未来はないと言っても過言ではないと考えております。

このような立場から、伊予市では人口減少に向け各種施策を講じていくことで、そのカーブをより緩やかなものにしていくことが肝要であると考えており、子育て支援策の充実、雇用対策の促進、移住・定住施策の検討など鋭意取り組んでいるところであります。

### ○シティブランド戦略について

来年度、合併10周年の節目を迎えるにあたり、シティブランド確立事業として、市内にある様々な地域資源を戦略的に活用し、市内外に向け、伊予市の魅力を積極的に発信していこうと考えています。

伊予市には季節ごとにすばらしい特産品がたくさんありますが、今回進めているシティブランドはそうした個別の特産品のPRではなく、伊予市そのものの魅力を広く発信していこうというもので、同時に「住んでいて良かった」、「行ってみたい、住んでみたい」と思っただけのまちづくりに繋げていくことも大きな目的の一つであります。既に市民の皆様の参画により「その方向性を象徴するロゴマークやキャッチコピーの作成」また「ロゴマーク・キャッチコピーなどを市民に広く浸透させ、そして活用していく方法の検討」が始まっており、今年度中には具体的なPR活動に発展させていく予定であります。

### ○市民の参画について

伊予市では総合計画の基本目標の一つに「参画と協働」を掲げており、審議会・委員会への参画に加え、タウンミーティング、市政懇談会、市民ワークショップ、市民アンケート、住民ヒアリング（聞き取り）ほか、様々な方法、手段により市民の皆様に市政運営に携わっていただいております。これからもあらゆる機会を捉え、参画と協働を進めてまいりますのでご理解いただきますようお願いいたします。

### ○愛媛CATVの活用について

以前回答させていただいたとおり、本市内のCATVサービスは、NTTの光回線サービスとの連携の上に成り立っているものであるため、松山市など愛媛CATV単独のケーブルテレビ回線エリアと比べ、提供サービスに大きな違いが生じております。

本市の財政状況を勘案しますと単独で回線を設置することが困難なため、愛媛CATVにおいて自社で単独の回線を設置するか、または、市と愛媛CATVとの共同で

回線を設置する方法について、引き続き愛媛CATVに対して働きかけは行っていき  
たいと考えております。

**○伊予市の財政内容について**

人口、固定資産評価額、法人数など様々な要因によりそれぞれの地域における税収  
に偏りはありますが、地域間の行政サービスの不均衡を是正し、一体的・総合的に発  
展していけるよう行政運営を行ってまいりたいと考えておりますのでご理解いただ  
きますようお願いいたします。